

史跡原城跡
整備基本計画書

令和4年(2022)11月
南島原市教育委員会

序 文

原城跡は、長崎県南島原市の南東部に残る肥前有馬氏の居城跡であり、近世初頭の城郭としての価値はもとより島原・天草一揆の籠城戦の舞台となったことで広く知られる国史跡です。

昭和 53 年に保存管理計画、平成元年に環境整備計画を策定して以降、保存および整備のための計画を何度か改訂しながら、近年まで史跡の保存整備事業を進めて参りました。計画を受け、原城跡本丸を中心とした発掘調査を平成 4 年に開始したところですが、石垣や門跡などの遺構が良好に残り、キリシタン遺物、陶磁器、瓦ほか多くの遺物が出土しました。また、一揆後の幕府軍の戦後処理による破却の実像も垣間見えるなど、当初の期待を大幅に上回る成果がありました。

その一方、調査には多年を要し、また近年では多発する豪雨災害に伴う崖面・法面の災害復旧や防災整備への対応も比重が大きくなり、原城跡全体の価値の周知や整備活用は、当初の計画に対して必ずしも順調には進みませんでした。

こうした課題への対応、あるいは平成 30 年に原城跡が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録され、構成資産としての保護の観点も必要となるなど、現在の情勢を踏まえた原城跡の保存活用を図るべく、令和 3 年 3 月に『史跡原城跡 保存活用計画』を新たに策定しました。

本計画は、保存活用計画の方針を受け、今後の整備事業における基本的な手法等を定めるため、従来の整備基本計画を改訂したものです。本計画に基づく整備事業によって、より多くの方々に原城跡へお越し頂き、史跡の価値のさらなる理解、豊かな体験活用が進むものと期待すると同時に、その実現に向け、着実に事業に取り組んで参ります。

未筆ながら、本計画の策定にあたりご指導、ご助言を賜った、史跡原城跡・日野江城跡専門委員会、文化庁、長崎県教育庁をはじめ、ご協力を頂いた関係者の皆様に心より感謝を申し上げ、本計画書策定にあたっての挨拶とさせていただきます。

令和 4 年 11 月

南島原市教育委員会
教育長 松本 弘明

例 言

1. 本書は、長崎県南島原市に所在する国指定史跡原城跡の整備基本計画である。
2. 策定にあたっては、文化庁の「歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業」を活用し、南島原市教育委員会が令和3・4年度に事業を実施した。
3. 策定にあたっては、史跡原城跡・日野江城跡専門委員会、文化庁、長崎県の指導助言を受けた。
4. 寛永14年(1637)に原城および周辺で起こった籠城戦の呼称について、原則として「島原・天草一揆」に統一した。ただし、関連計画の記載を引用するなどの場合は、引用元の記載に合わせた。
5. 「史蹟」と「史跡」、「原城址」と「原城跡」の表記の使い分けについて、国指定の時期に関わる場合はそれぞれ前者、それ以外の場合は後者を用いた。
4. 本書の編集は、南島原市教育委員会が、業務委託による(株)埋蔵文化財サポートシステム長崎支店の一部支援を受けて行った。
5. 本書にかかる諸記録は、南島原市教育委員会文化財課で保管している。

目次

序文・例言

第1章 計画策定の経緯と目的

第1節 計画策定の経緯	1
第2節 計画の目的・対象範囲・期間	2
1) 整備基本計画の目的	2
2) 計画の対象範囲	3
3) 計画期間	3
第3節 委員会の設置	4
1) 委員会の構成	4
2) 委員会開催の経過	5
第4節 上位計画および関連計画	5

第2章 計画地の現状

第1節 自然的環境	6
1) 位置と立地	6
2) 気象	6
3) 地形・地質	8
4) 植生	12
5) 景観	13
第2節 社会的環境	14
1) 人口	14
2) 産業	14
3) 観光	15
4) 交通	15
5) 土地所有および土地利用	17
6) 地域資源	19
7) 法的規制	21
8) 地域住民の要望等	25

第3章 史跡原城跡の概要および現状と課題

第1節 史跡指定の状況	27
第2節 原城跡の概要	29
1) 原城跡の概要	29
2) 原城跡の本質的価値	30

第3節 原城跡の整備実績と活用等の経過	39
1) 原城跡の整備実績	39
2) 史跡整備以外の原城跡の活用等の経過	50
3) これまでの整備計画に対する実績	53
第4節 原城跡の現状と課題	62
1) 史跡全体の整備における現状と課題	62
2) 要素ごとの現状と課題	79
3) 史跡周辺の現状と課題	83
4) 公開・活用に関わる現状と課題	84
5) 広域関連整備の現状と課題	85

第4章 基本方針

第1節 整備の基本理念	87
第2節 整備の基本方針	87
1) 保存のための整備の基本方針	88
2) 価値を伝えるための整備の基本方針	88
3) 動線や活用のための整備の基本方針	88
4) 維持管理の基本方針	89
5) 公開活用の基本方針	89
6) 運営体制の基本方針	89

第5章 整備基本計画

第1節 全体計画および地区区分計画	90
1) 全体計画	90
2) 地区区分計画	90
第2節 遺構保存に関する計画	100
1) 遺構保存に関する整備計画	100
第3節 石垣・法面の修復に関する計画	104
1) モニタリング計画	105
2) 石垣・法面の修復計画	106
第4節 防災整備に関する計画	107
1) 防災整備・復旧計画	109
第5節 雨水排水整備に関する計画	113
1) 雨水排水整備計画	113
第6節 周辺地域の環境保全に関する計画	115
1) 景観法に基づく周辺地域の環境保全計画	115
2) 世界文化遺産に関わる周辺地域の環境保全計画	116
3) その他の周辺地域の環境保全計画	118

第7節 動線計画	120
1) はじめに	120
2) 動線計画	120
3) 本丸の見学動線に関する計画	123
4) 史跡全体のバリアフリー化に関する計画	125
第8節 遺構の表現に関する計画	126
1) 遺構表現整備計画	126
第9節 修景および植栽に関する計画	130
1) 修景に関する計画	130
2) 植栽に関する計画	130
第10節 案内・解説施設に関する計画	134
第11節 管理施設および便益施設に関する計画	138
1) 管理施設整備計画	138
2) 便益施設整備計画	138
第12節 公開・活用およびそのための施設に関する計画	145
1) 原城跡世界遺産センター整備に関する計画	145
2) 原城跡世界遺産センターの史跡の保存・活用上の位置づけ	149
3) 原城跡世界遺産センターの世界文化遺産の保存・活用上の位置づけ	149
第13節 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画	151
第14節 公開・活用に関する計画	151
1) 調査・研究成果の公開計画	151
2) 学校教育・生涯学習・社会体育の場としての活用計画	151
3) 地域振興の場としての活用計画	152
4) 観光資源としての活用計画	152
第15節 管理・運営に関する計画	153
1) 整備事業における管理・運営に関する計画	153
2) 史跡内の管理に関する計画	153
第16節 整備事業に必要となる調査等に関する計画	154
1) 発掘調査計画	154
2) 水文調査計画	154
3) 植生調査計画	154
第17節 事業計画	155

第6章 完成予想図

.....	157
-------	-----

参考文献一覧	160
--------	-----

